授業科目	＊助産管理学					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年
担当教員	杉浦　絹子、前田　幸						
授業概要	助産師には安全で快適に妊産褥婦とその家族が妊娠・出産・育児期を過ごせるように助産ケアを提供する役割がある。本科目では、病院・診療所・助産所における助産管理に必要な基本的知識を身につけるため、助産管理の基本概念と管理のプロセス、病院・診療所と助産所における助産業務管理、助産業務に関連する概念や関連法規、周産期管理システム、周産期におけるリスクマネジメント、災害時の助産ケア、助産政策について学修する。						
授業形態	講義				授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．助産管理の基礎となる概念と理論、管理プロセスについて説明できる。 2．関連法規から助産業務の法的範囲と法的責任について説明できる。 3．助産所と病院・診療所における助産業務管理の方法を説明できる。 4．院内助産、助産師外来等、病院における助産ケア提供体制の取り組みについて説明できる。 5．周産期医療体制の構成と連携方法について説明できる。 6．助産業務におけるリスクマネジメントについて説明できる。 7．助産の質の向上のための助産政策の定義、プロセス、実際について説明できる。 8．災害時の母子に対する助産管理について説明できる。
理想的レベル	助産管理学の応用分野である助産管理実習と統合させて、安全で快適に妊産褥婦とその家族が妊娠・出産・育児期を過ごせるように助産ケアを提供するための助産業務管理を理解し説明できる。 乳腺炎重症化予防ケア・指導料、在宅妊娠糖尿病患者指導管理料の診療報酬収載までのプロセスについて説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他	10%	授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	MI21209J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
教科書、助産師業務要覧基礎編、応用編、アドバンス編の該当箇所を読む。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：助産管理の基礎となる概念とプロセス　（杉浦 絹子）

	・助産管理と助産業務管理 ・助産師の業務の特性と助産管理 ・助産マネジメントとは ・マネジメントプロセス
第 2 回	テーマ：管理に活かす理論　（杉浦 絹子） ・リーダーシップ理論 ・組織変革モデル ・安全管理・事故防止のための理論
第 3 回	テーマ：助産業務管理と医療経済　（杉浦 絹子） ・医療保険制度と助産業務 ・助産業務と診療報酬 ・分娩費用・健康診査にかかわる費用
第 4 回	テーマ：周産期医療体制と地域連携　（杉浦 絹子） ・周産期母子医療センター ・周産期搬送システム ・周産期医療のオープンシステム・セミオープンシステム
第 5 回	テーマ：助産に関する医療安全に関する法律・制度　（杉浦 絹子） 医療安全に関する法律・制度 ・医療法 ・保健師助産師看護師法 ・母体保護法 ・刑法 ・医師法 ・診療報酬
第 6 回	テーマ：医療事故防止（杉浦 絹子） ・医療事故防止対策 ・無痛（麻酔）分娩の管理
第 7 回	テーマ：病院・診療所における助産業務管理　（外部講師） 助産業務管理の過程 ・看護体制 ・労務管理 ・診療情報の提供と開示 ・快適な出産環境 ・院内助産の業務管理 助産業務管理の方法

	・組織管理 ・業務の質管理
第 8 回	テーマ：助産所における助産業務管理　　（外部講師） ・助産所管理に関する法律 ・助産所の管理運営 ・助産所の経営
第 9 回	テーマ：助産師のキャリア開発・支援　（杉浦 絹子） ・助産師のキャリアパス、クリニカルラダー ・助産師のキャリアの開発・育成 ・継続教育 ・助産ケアの質評価
第 10 回	テーマ：助産政策　（杉浦 絹子） 助産政策とは 政策形成されるプロセス ・母子保健法、産後ケア事業 ・乳腺炎重症化予防ケア・指導料、在宅妊娠糖尿病患者指導管理料の診療報酬収載までの過程
第 11 回	テーマ：助産業務とガイドライン①　（杉浦 絹子） ・産婦人科診療ガイドライン 2023 産科診療編 ・産科危機的出血対応指針 2022
第 12 回	テーマ：助産業務とガイドライン②　（杉浦 絹子） ・助産師業務ガイドライン ・エビデンスに基づく助産ガイドライン 2020 ・乳腺炎ケアガイドライン
第 13 回	テーマ：産科医療訴訟事例分析　　（杉浦 絹子） ・産科医療保障制度再発防止に関する報告書の中の事例について、関連知識を整理し、考察し、発表する。
第 14 回	テーマ：助産管理の場と対象の特性　（杉浦 絹子） ・新生児室における管理　正期産児の管理 ・NICU における管理　早期産児の管理
第 15 回	テーマ：災害に関する管理（前田幸） ・災害に対する体制について ・平時における災害の備えと被災時の対応 ・災害時の母子への支援

テキスト	助産学講座 10　助産管理　我部山キヨ子他編　医学書院 産婦人科診療ガイドライン産科編日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編　産婦人科学会 助産師業務要覧　基礎編　実践編　アドバンス編　福井トシ子編　日本看護協会出版会 エビデンスに基づく助産ガイドライン 2020　日本助産学会 妊娠出産される女性とご家族のための助産ガイドライン 2021　日本助産学会 助産業務ガイドライン　日本助産師会編　　日本助産師会出版 助産師基礎教育テキスト 7 巻　ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア　日本看護協会出版会
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産師基礎教育テキスト　助産サービス管理　日本看護協会出版会 産科医療保障制度再発防止に関する報告書 分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド　日本看護協会
課題に対するフィードバックの方法	ミニッツペーパーに書かれた質問には、次回の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。 成績発表後に解答例を解説も含めて提示するとともに、評価点分布図を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	看護管理の基礎知識を必要とし、助産の重要な専門科目です。広い分野に応用できる内容であるため積極的に発言、意見交換に取り組んでください。予習・復習を主体的に行ってください。 病院・診療所・助産所、地域での実習を通して助産管理の学びを深め、グループディスカッションを行います。